



Denka

Possibility
of
chemistry

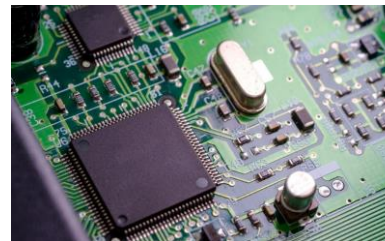
2026年度（2027年3月期） 第1四半期 決算説明会資料

証券コード：4061

デンカ株式会社

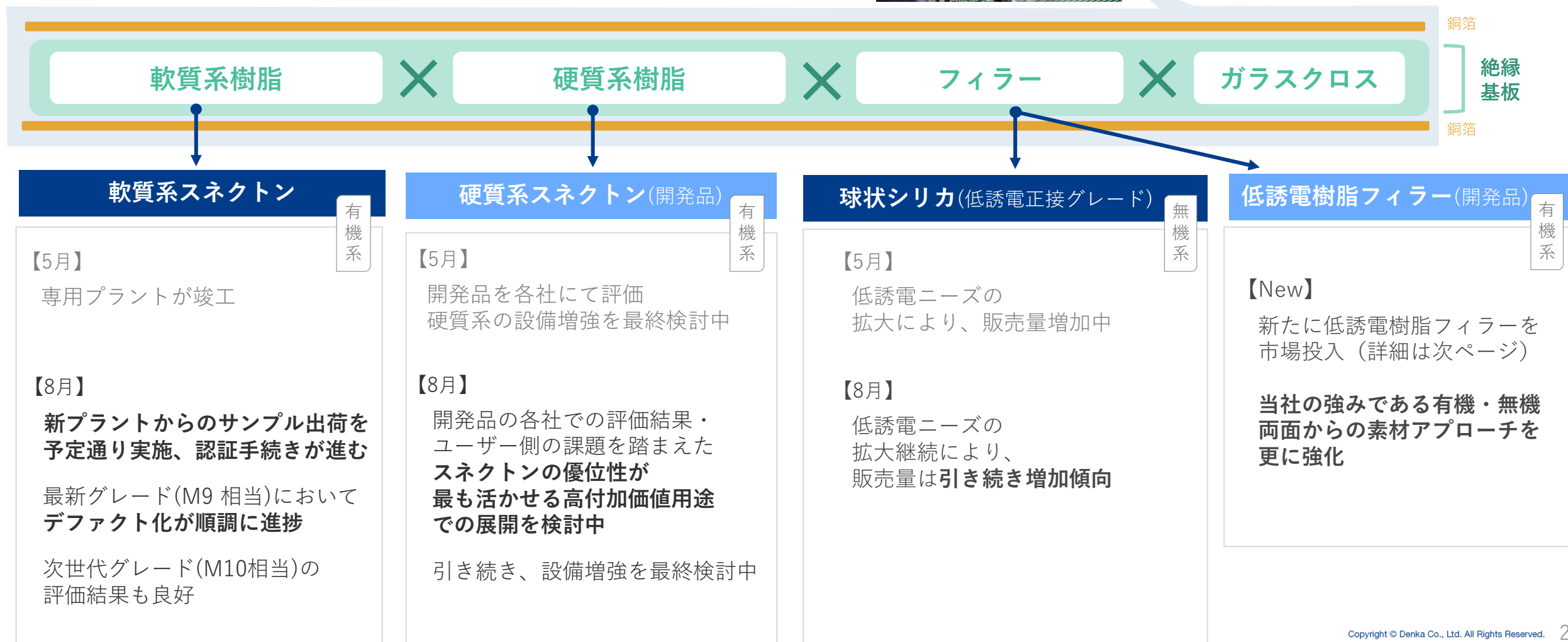
2026年8月7日

- 軟質系スネクトン：デファクトスタンダード化が順調に進捗
- 球状シリカ（低誘電正接グレード）：需要拡大が継続

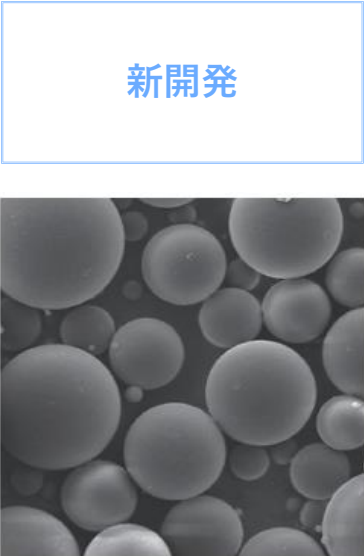


※スネクトン：
低誘電有機絶縁樹脂。伝送損失を大幅に低減する
優れた誘電正接と加工性を両立する**唯一無二の材料**

リジッド銅張積層板（リジッドCCL）の構成材料



■ 低誘電樹脂フィラー：高速通信基板向けに開発品を市場投入



新開発

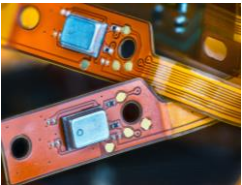
低誘電樹脂フィラー

主な特長
- PTFE並みの低誘電特性を持ちながら、PFASフリー - 粒子形状が球状であるため、高充填が可能 - PTFEフィラーと比較し、低CTE※、低比重、高密着性 - 無機フィラーと比較し、低Dk、低比重 ▶ FCCL向け樹脂フィラー代替や リジッドCCLでの無機フィラーとの併用を想定

物性	有機		無機	
	当社開発品 (樹脂フィラー)	(参考) PTFEフィラー	球状 シリカ	球状シリカ (低誘電正接グレード)
粒子形状	球状	非球状	球状	球状
比重(g/cm³)	1.0~1.2	2.2	2.2	2.2
CTE(ppm/°C)	70	100-140	0.5	0.5
誘電率(Dk)	2.3	2.1	3.8	3.8
誘電正接(Df)	0.0006	0.0003	(品種による)	0.0010以下

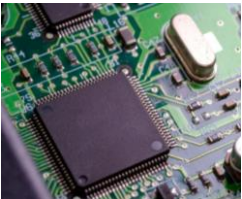
※CTE：熱膨張係数

想定（1）フレキシブル銅張積層板（FCCL）（フッ素混成ポリイミド）向け



銅箔
絶縁層
銅箔

想定（2）リジッド銅張積層板（リジッドCCL）向け



銅箔
絶縁層
銅箔

- 営業利益：抜本的対策効果は1Q+30億円、通期では計画通り+62億円の見通し（2025年度比）
- 特別損益：1Qは△47億円。通期で一定の特別損失を見込むが、特別利益の計上などで補填することを計画

最新状況	設備	DPEでは、製造設備の安全な状態での休止を目的とした、原材料や中間品などの物質の抜き取りが概ね完了し、設備のクリーニングや後処置等を実施中
	従業員	人員の適正化を進めている (従業員数 2025年12月末時点：約140名→2026年7月末時点：約80名→更なる人員適正化へ)
	ステークホルダー	DPEは、今後の費用負担を最小化すべく、各ステークホルダーとの協議を継続中

単位：億円		1 Q	2 Q	下期	通期
営業利益	抜本的対策効果 (2025年度比)	+ 30	+ 32	0	+62
特別損益	DPE関連損失 (原材料等の抜取作業に伴う労務費などの費用)	△47	2Q以降も一定の費用が特別損失として発生		
	政策保有株式売却益	0	検討		
	繰延税金資産の計上	0			
					補填

2026年度1Q
決算概要
(P6-P14)

■ 営業利益： 110億円（前年比 +87億円）

AI関連と電力インフラ向け需要拡大、DPE操業停止効果(+30)に加え、在庫影響※(+60、中東情勢による一時的な影響等)により大幅増益

※在庫影響+60（原燃料価格高騰前の期首在庫販売による効果など）：原燃料価格下落時はマイナスに転化する可能性
（ポリマーソリューション+48、エラストマー・インフラソリューション+5ほか）

■ 純利益： 28億円（前年比 △22億円）

特別損失：事業整理損等(DPE関連等) 2025年1Q△22(設備内の原材料、中間品の評価減のみ)
2026年1Q△48(原材料等の抜取作業に伴う労務費等の費用)

特別利益：2025年1Q+82（大船工場用地売却益）→ 2026年1Q なし

2026年度
通期予想
(P15-P18)

■ 営業利益：上期 170億円(期初予想比+50億円)

■ 純利益：上期 0億円(期初予想比±0億円)

【上期】

電子・先端プロダクツの堅調な進捗、ライフイノベーションの販売減、在庫影響のプラス効果残存を織り込み

【通期】

中東情勢や原燃料価格の先行きが不透明であるため、在庫影響がマイナスに転化する可能性などがあり、
今回は見直しは行わず、第2四半期決算時に見直し予定
(参考) 期初予想 営業利益：300億円 純利益 160億円

株主還元
(P19)

■ 配当予想：100円/株から変更なし（総還元性向54%）

■ 今後の配当方針：総還元性向50%（経営計画8年間累計）を目安にしたうえで、
1株当たり配当額の維持、増加を目指す

2026年度(2027年3月期)第 1 四半期 決算概要

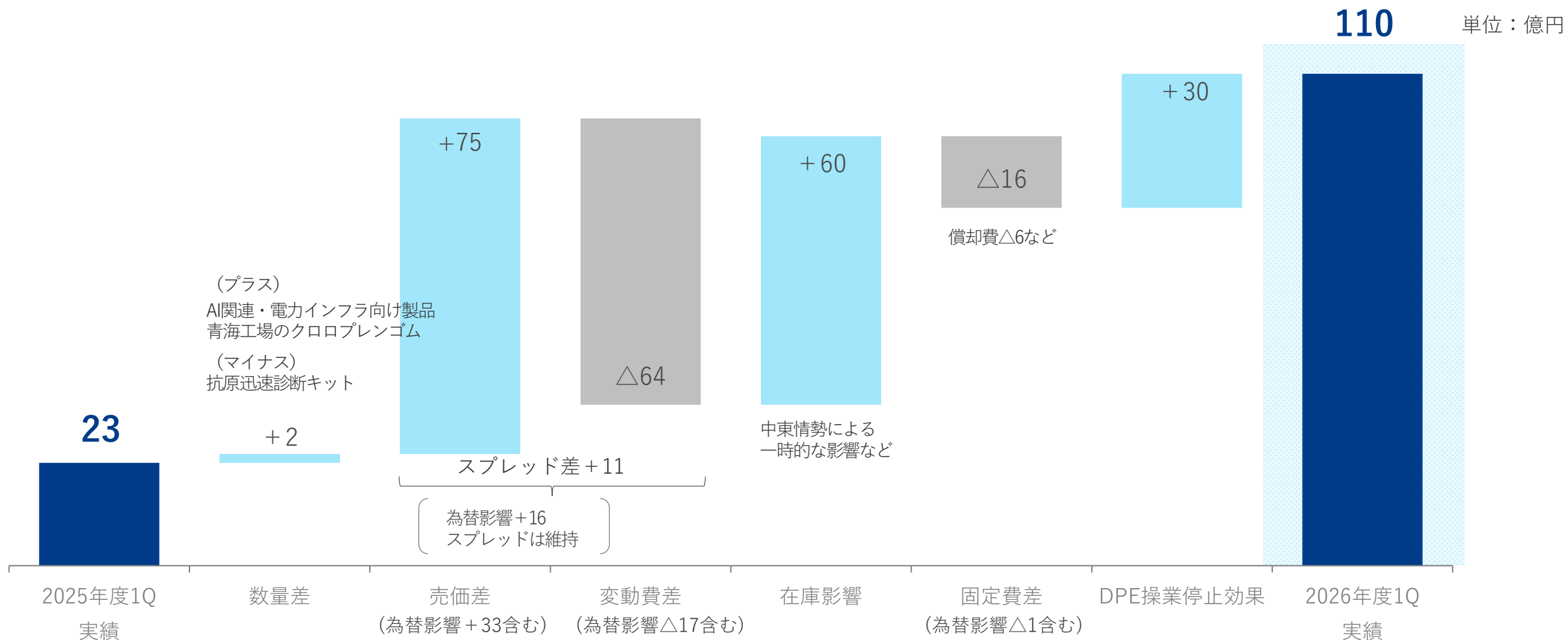
- 営業利益：AI関連と電力インフラ向け需要拡大、DPE操業停止効果(+30)に加え、在庫影響(+60、中東情勢による一時的な影響など)により大幅増益

単位：億円	2025年度 1Q実績	2026年度 1Q実績	(前年比)
売上高	941	970	+29
営業利益	23	110	+87
営業利益率	2.4%	11.3%	+8.9%
経常利益	17	95	+78
特別利益：大船工場用地売却益	82	0	
特別損失：事業整理損失等(DPE関連等)	△ 22	△ 48	
純利益	50	28	△22
為替レート (円/\$)	145.3	159.9	
国産ナフサ (円/Kリットル)	65,100	113,200	

■ AI関連と電力インフラ向け需要拡大、DPE操業停止効果(+30)に加え、在庫影響※(+60、中東情勢による一時的な影響など)により大幅増益

営業利益 差異分析(前年比)

※在庫影響+60(原燃料価格高騰前の期首在庫販売による効果など)：原燃料価格下落時はマイナスに転化する可能性
(ポリマーソリューション+48、エラストマー・インフラソリューション+5 ほか)



■ 電子・先端プロダクツ、エラストマー・インフラソリューション、ポリマーソリューションが増益

売上高	2025年度1Q 実績	2026年度1Q 実績	増減	DPE			単位：億円
				数量差	売価差	操業停止効果	
電子・先端プロダクツ	236	264	+28	+8	+19		
ライフイノベーション	66	70	+4	+5	△1		
エラストマー・インフラソリューション	258	237	△21	△2	+15	△34	
ポリマーソリューション	338	361	+23	△18	+41		
その他/消去差	43	39	△4	△4	-		
合計	941	970	+29	△11	+75	△34	

営業利益	2025年度1Q 実績	2026年度1Q 実績	増減	DPE			
				数量差	売価差	コスト差等	操業停止効果
電子・先端プロダクツ	25	37	+12	+6	+19	△13	
ライフイノベーション	2	2	△0	△6	△1	+7	
エラストマー・インフラソリューション	△14	27	+41	+10	+15	△13	+30
ポリマーソリューション	4	36	+32	△9	+41	+0	
その他/消去差	6	7	+1	+1	-	-	
合計	23	110	+87	+2	+75	△20	+30

■ ポリマーソリューションの大幅増益により全体でも増益

単位：億円

売上高	2024年度				2025年度				2026年度	4Q比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	(増減)
電子・先端プロダクツ	219	232	225	247	236	265	258	285	264	△21
ライフイノベーション	78	146	127	82	66	148	135	56	70	+14
エラストマー・インフラソリューション	292	272	280	272	258	241	229	248	237	△11
ポリマーソリューション	326	349	349	330	338	316	278	309	361	+52
その他/消去差	38	40	44	56	43	56	40	37	39	+2
合計	952	1,038	1,025	987	941	1,026	941	935	970	+35

営業利益	2024年度				2025年度				2026年度	4Q比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	(増減)
電子・先端プロダクツ	23	27	20	22	25	38	34	41	37	△5
ライフイノベーション	17	40	19	20	2	36	28	△4	2	+6
エラストマー・インフラソリューション	△2	△29	△26	△23	△14	△20	11	24	27	+4
ポリマーソリューション	3	4	4	1	4	11	5	16	36	+20
その他/消去差	7	5	7	5	6	9	6	3	7	+5
合計	47	47	24	26	23	74	85	80	110	+30

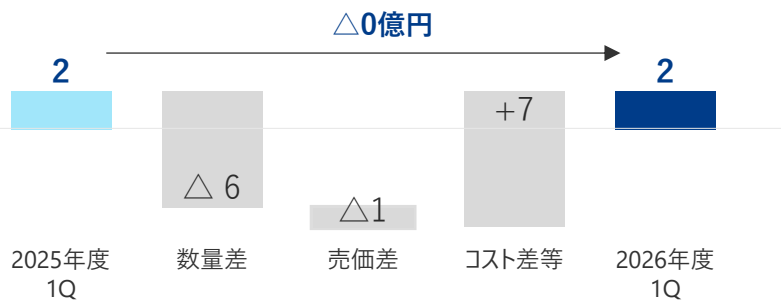
■ AI関連・電力インフラ向け需要拡大により増益



■ 感染症の流行に伴う検査需要減少により、抗原迅速診断キットが大幅減

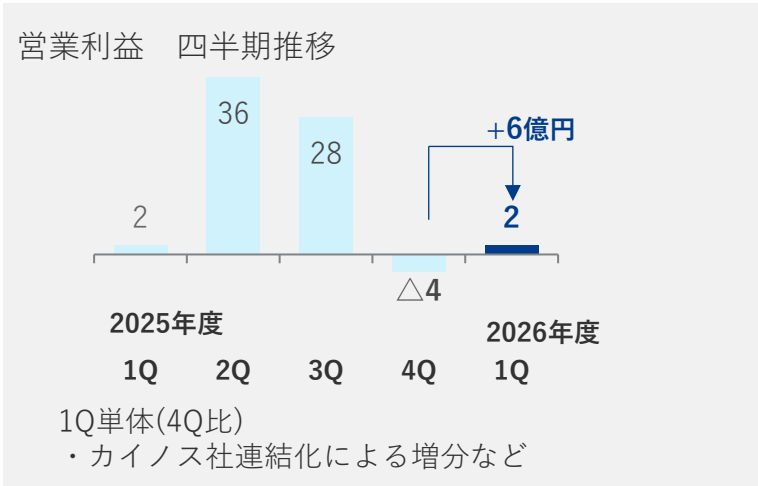
営業利益 差異分析(前年比)

単位：億円



差異理由 (前年比)

	数量差	売価差	コスト差等
インフルエンザワクチン	→ 9月出荷に向け製造中	→ 前年並	↗ 研究費減ほか
抗原迅速診断キット	↓ 感染症が流行しておらず、検査需要の減少により出荷減	→ 同上	
臨床試薬(炎症マーカー等)	↗ カイノス社連結化による増分を含む	→ 同上	

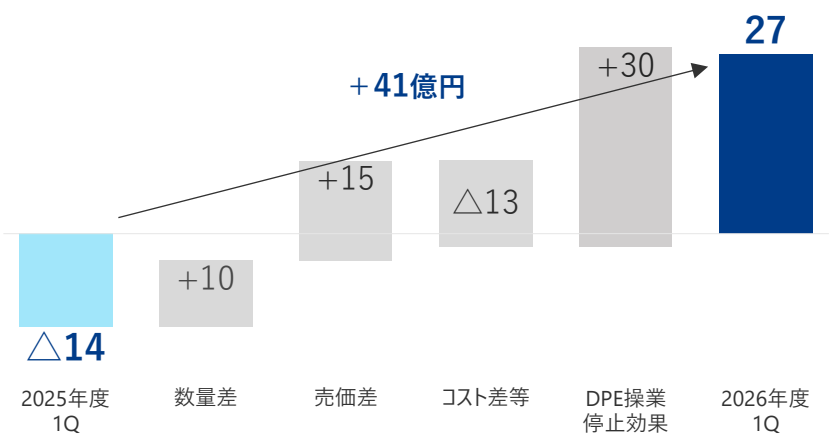


DPE操業停止効果により大幅増益

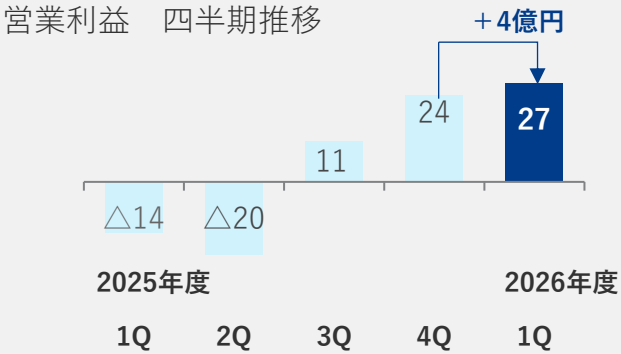
営業利益 差異分析(前年比)

単位：億円

差異理由 (前年比)



営業利益 四半期推移



1Q単体(4Q比)
4Q並み

数量差



需要は前年並も、
DPE品からの切替
により青海工場品
の出荷増

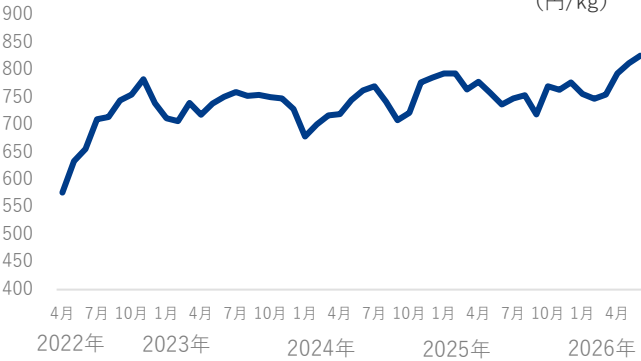
クロロプレン
ゴム

売価差



- ・ 為替影響：プラス
- ・ 為替除く影響：前年並

【通関統計】輸出単価（ドライ+ラテックス）（円/kg）



コスト差等



原燃料価格上昇

特殊混和材



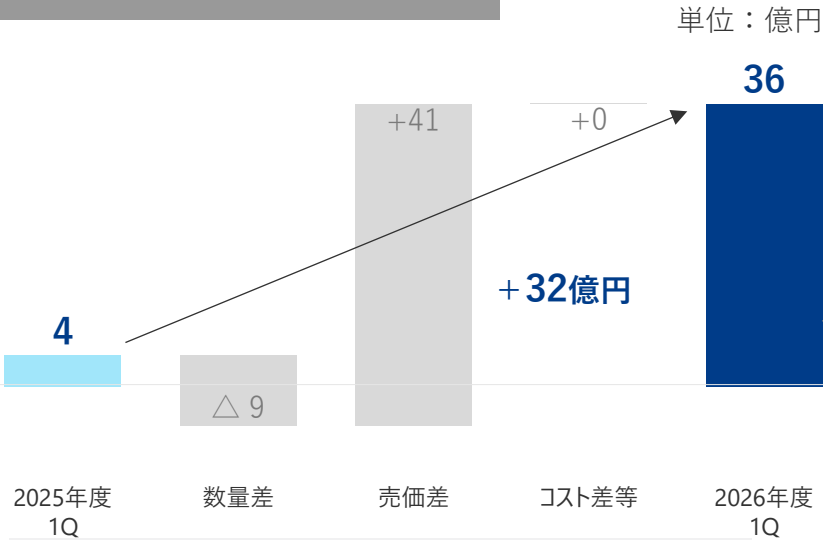
前年並



前年並

■ 在庫影響+48(中東情勢による一時的な影響など)のプラス効果により大幅増益

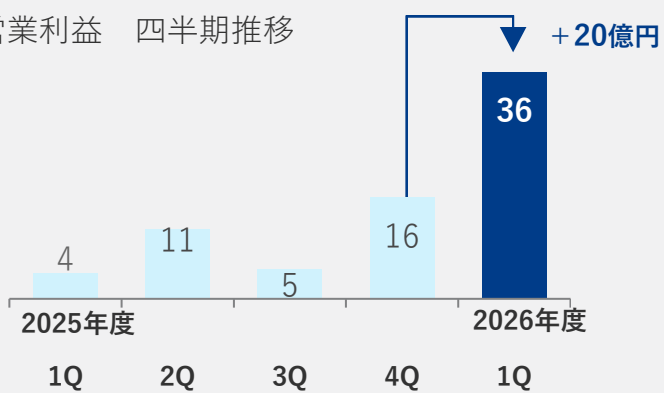
営業利益 差異分析(前年比)



差異理由 (前年比)

数量差		売価差	コスト差等
MS樹脂	⬇️ [PCモニター向け導光板用途] 中国品との競合による販売減 (中東情勢影響: 1Qでは軽微)	⬆️	⬆️
AS・ABS・ 透明樹脂など	⬇️ 中東情勢影響による数量減	⬆️ 原燃料価格上昇に伴う 価格改定	⬆️ [マイナス] 原燃料価格上昇 [プラス] 在庫影響(中東情勢 等による一時的な 影響など)
食包シート・ 容器	➡️ 前年並	⬆️	
Toyokalon	⬇️ 生産集約による数量減 (中東情勢影響: 1Qでは軽微)	⬆️ 同上	⬆️ 生産集約により コスト削減

営業利益 四半期推移



1Q単体(4Q比)
在庫影響(中東情勢による一時的な影響など)により大幅増益

2026年度(2027年3月期) 業績予想

- 【上期】 電子・先端プロダクツの堅調な進捗、ライフイノベーションの販売減、在庫影響のプラス効果残存を織り込み
- 【通期】 中東情勢や原燃料価格の先行きが不透明であるため、在庫影響がマイナスに転化する可能性などがあり、今回は見直しは行わず、第2四半期決算時に見直し予定

単位：億円	2025年度上期 実績	2026年度上期 期初予想	2026年度上期 今回予想	(期初予想比)	(参考)通期 期初予想
売上高	1,967	2,100	2,050	△ 50	4,500
営業利益	97	120	170	+50	300
営業利益率	5.0%	5.7%	8.3%	+2.6%	6.7%
経常利益	68	70	110	+40	200
純利益	39	0	0	±0	160
為替レート(円/\$)	146.2	158.0	160.4		
国産ナフサ(円/Kリットル)	65,000	121,100	99,300		

- 【上期】 電子・先端プロダクツの堅調な進捗、ライフイノベーションの販売減、在庫影響のプラス効果残存を織り込み
- 【通期】 中東情勢や原燃料価格の先行きが不透明であるため、在庫影響がマイナスに転化する可能性などがあり、今回は見直しは行わず、第2四半期決算時に見直し予定

営業利益 (単位：億円)	1Q 実績	2Q 予想 (差引)	上期 今回予想	(期初 予想比)	通期の 先行き	業績予想修正の主な要因
電子・先端プロダクツ	37	23	60	+20	◎ (想定を上回る)	AI関連製品(スネクトン、球状シリカ、球状アルミナなど)の需要拡大が継続。 (スネクトンは下期に販売が本格化) 中東情勢によるアセチレンブラックの減産影響は、2Q以降で本格化する見通し。 一方、他製品への中東情勢影響は想定より軽微
ライフイノベーション	2	8	10	△ 20	△ (想定を下回る)	抗原迅速診断キットは、感染症流行に伴う検査需要が期初の想定を大幅に下回る (市中在庫の消化ペースが想定以上に鈍化しているため、下期も想定を下回る可能性あり)
エラストマー・インフラ ソリューション	27	23	50	+10	○ (想定並)	クロロプレンゴムの需要は想定並み 在庫影響のプラス効果残存を織り込み
ポリマーソリューション	36	4	40	+40	○ (想定並)	在庫影響のプラス効果残存を織り込み 中東情勢によるマイナス影響は、想定より軽微
その他/消去差	7	3	10	±0		
合計	110	60	170	+50		

■ アセチレンブラックのタイでの新規製造拠点投資が進捗し、設備投資額は昨年度をピークに減少

単位：億円

	設備投資・投融資額※1				減価償却費				研究開発費			
	2025年度		2026年度		2025年度		2026年度		2025年度		2026年度	
	1Q 実績	通期 実績	1Q 実績	通期 予想 (変更なし)	1Q 実績	通期 実績	1Q 実績	通期 予想 (変更なし)	1Q 実績	通期 実績	1Q 実績	通期 予想 (変更なし)
電子・先端プロダクツ	44	379	65	250	27	112	29	120	15	58	17	70
ライフイノベーション	8	61	25	40	10	42	11	42	13	45	9	40
エラストマー・インフラソリューション	18	111	29	100	21	83※2	21	90	6	25	7	30
ポリマーソリューション	11	52	23	70	13	52	16	64	5	19	6	20
その他/消去差	0	4	3	10	1	3	1	4	-			
合計	82	608	144	470	72	292	78	320	39	148	39	160

※1 「その他」にCVC等を含む

※2 DPEの償却減分を含む

■ キャッシュフローの改善を見込み、前年同額の100円/株を維持（期初予想から据え置き）

		2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想
当期純利益	(億円)	227	228	260	128	119	△123	157	160
1株当たり配当	(円/株)	125.0	125.0	145.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
配当額	(億円)	108	108	125	86	86	86	86	86
配当性向		48%	47%	48%	68%	72%	-	55%	54%
自己株取得	(億円)	-	-	-	-	-	-	-	-
総還元額	(億円)	108	108	125	86	86	86	86	86
総還元性向		48%	47%	48%	68%	72%	-	55%	54%
減価償却額	(億円)	225	229	239	270	269	279	292	320
設備投資・投融資 [※]	(億円)	369	423	356	394	440	700	608	470
有利子負債残高	(億円)	1,343	1,382	1,370	1,697	1,744	2,177	2,217	2,450
ネットDEレシオ		0.42倍	0.42倍	0.40倍	0.50倍	0.45倍	0.61倍	0.60倍	0.69倍
ROIC		6.6%	6.8%	7.3%	6.7%	2.5%	2.5%	4.2%	4.5%
ROE		9.1%	8.8%	9.4%	4.4%	4.0%	△4.1%	5.2%	5.1%
DOE		4.3%	4.2%	4.5%	2.9%	2.9%	2.9%	2.8%	2.7%

単位：億円

売上高	2026年度 上期予想 (期初)	2026年度 上期予想 (今回)	増減		
				数量差	売価差
電子・先端プロダクツ	500	550	+50	+45	+5
ライフイノベーション	200	170	△ 30	△ 31	+1
エラストマー・インフラソリューション	500	500	±0	△ 5	+5
ポリマーソリューション	800	730	△ 70	△ 34	△ 36
その他/消去差	100	100	±0	+0	△ 0
合計	2,100	2,050	△ 50	△ 25	△ 25

営業利益	2026年度 上期予想 (期初)	2026年度 上期予想 (今回)	増減			
				数量差	売価差	コスト差等
電子・先端プロダクツ	40	60	+20	+12	+5	+3
ライフイノベーション	30	10	△ 20	△ 38	+1	+17
エラストマー・インフラソリューション	40	50	+10	△ 4	+5	+9
ポリマーソリューション	0	40	+40	+1	△ 36	+74
その他/消去差	10	10	±0	+0	△ 0	△ 0
合計	120	170	+50	△ 29	△ 25	+104

単位：億円

売上高	2025年度 実績	2026年度 予想 (変更なし)	増減	DPE		
				数量差	売価差	操業停止効果
電子・先端プロダクツ	1,044	1,100	+56	△36	+91	
ライフイノベーション	405	450	+45	+51	△6	
エラストマー・インフラソリューション	976	1,050	+74	+76	+61	△62
ポリマーソリューション	1,242	1,700	+458	+117	+341	
その他/消去差	176	200	+24	+24	-	
合計	3,842	4,500	+658	+232	+488	△62

営業利益	2025年度 実績	2026年度 予想 (変更なし)	増減	DPE			
				数量差	売価差	コスト差等	操業停止効果
電子・先端プロダクツ	139	130	△9	△3	+91	△97	
ライフイノベーション	62	60	△2	+18	△6	△15	
エラストマー・インフラソリューション	1	70	+69	+22	+61	△75	+62
ポリマーソリューション	36	20	△16	△25	+341	△332	
その他/消去差	24	20	△4	△5	-	+0	
合計	262	300	+38	+7	+488	△519	+62

単位：億円

売上高	2024年度				2025年度				2026年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q実績	2Q予想
電子・先端プロダクツ	219	232	225	247	236	265	258	285	264	286
ライフイノベーション	78	146	127	82	66	148	135	56	70	100
エラストマー・インフラソリューション	292	272	280	272	258	241	229	248	237	263
ポリマーソリューション	326	349	349	330	338	316	278	309	361	369
その他/消去差	38	40	44	56	43	56	40	37	39	61
合計	952	1,038	1,025	987	941	1,026	941	935	970	1,080

営業利益	2024年度				2025年度				2026年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q実績	2Q予想
電子・先端プロダクツ	23	27	20	22	25	38	34	41	37	23
ライフイノベーション	17	40	19	20	2	36	28	△4	2	8
エラストマー・インフラソリューション	△2	△29	△26	△23	△14	△20	11	24	27	23
ポリマーソリューション	3	4	4	1	4	11	5	16	36	4
その他/消去差	7	5	7	5	6	9	6	3	7	3
合計	47	47	24	26	23	74	85	80	110	60

業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき、当社の判断による一定の前提の下に作成されており、リスクや不確定要素等の要因が含まれていること、これら会社の将来情報と実際の業績とは乖離する可能性があります。

世界に誇れる、化学を。

Denka

本資料に関するお問い合わせ先
デ ン カ 株 式 会 社
コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-5290-5511

URL <https://www.denka.co.jp>